

建設部会長報告

会議名 秋田市議会「建設産業を考える議員の会」との意見交換会

日時 2021年10月19日（火）10：30～12：00

場所 秋田市役所 5階 第1委員会室

出席者 ◆佐藤副会頭、正副部会長4名、水澤専務理事

◆建設産業を考える議員の会

伊藤巧一会長、安井誠悦副会長、熊谷重隆幹事長

目的 秋田市の建設業界の持続的な発展を図るため、秋田市に対する業界要望についてより具体的な成果を導くことを目的に意見交換会を実施した。

内容 意見交換（秋田市への要望について）

【要望項目案】 ※正副部会長から説明

区分	要望項目	説明者
地元企業への 受注機会の拡大	必要な公共事業予算の安定的・持続的な確保	加藤部会長
	仁井田浄水場等整備事業の地元建設業者を優先した発注	長谷川副部会長
人材不足・ 人材確保	週休二日制モデル工事の導入促進	加藤部会長
建設関連	県産木材の安定供給および住宅関連産業への支援	中村副部会長
	秋田市住宅リフォーム支援事業の拡充	
不動産関連	ハザードマップの見直しおよび誘導掲示板の設置	長門副部会長
	空き家解体に係る固定資産税の減免措置	

【意見交換での主な意見①】

（議員）木材や建材価格の高騰は、マスコミ等の報道の影響で左右される部分が大い
のではないか。

- ➡木材だけでなく、他の建材も値上げされている状況である。公共工事予算の積算に
当たり、流通状況や価格も加味して発注していただきたい。（中村副部会長）
- ➡先月、建設部会でウッドショックについての講演会を実施したが、製材業は活況
でありフル稼働しているものの、乾燥設備が足りずに時間がかかっているようだ。
その設備に対する補助もあればよいと考えている。（加藤部会長）

（議員）仁井田浄水場については、秋田市建設業協会等からも要望を受けている。会
議所からの要望で、もう一押ししていただきたい。

- ➡地元建設業者の参入をより多く実現するため、最低限業種ごとに4社以上含まれる
ようご協力をお願いしたい。（長谷川副部会長）

（議員）週休二日制に関して、昨年の市の公共工事の実績が98件中7件にとどまってい
るのは、業者側が対応できないからではないのか。

- ➡経費や工期の増に対応しなければならず、入札時に発注者側の工期や金額に担保さ
れているのか分からない中では参加しづらいというのが本音。世の中の流れは週休
二日制であり、指定型となれば業者はやらざるを得ない状況になるため、週休二日
制の導入は進むと考える。（長谷川副部会長）

【意見交換での主な意見②】

（議員）リフォーム補助金について、空き家の活用とリフォーム事業を絡めて検討していった方が良いのではないか。

➡移住の補助金では、若者移住促進事業補助金等の制度もあるが、**空き家のリフォーム等に活用できる制度がない。空き家を活用する場合にも対応できるように拡充をお願いしたい。**（中村副部会長）

（議員）ハザードマップについては、確かに見にくい。市内6河川の浸水深の基準が変わり、来年春に見直しのうえ全戸配布する計画がある。11月議会で一般質問の機会があるので質問させてもらう。

➡避難場所も、一時的な避難場所なのか、長期的な避難場所なのか分類し整理する必要があると思うので、是非お願いしたい。（長門副部会長）

（議員）固定資産税の減免措置について、市としては、市町村判断ではなく法律で対応して欲しいというスタンスであり。昨年全国市長会を通じて要望している。一方、全国でも減免している市町村もあるようなので、11月議会の一般質問にこの件も含めるか検討したい。固定資産税は市の基幹財源であるため、減免措置は非常に難しいが、波及効果が高ければ検討の余地はあると思う。

➡相続の問題もあるので、是非検討していただきたい。（長門副部会長）